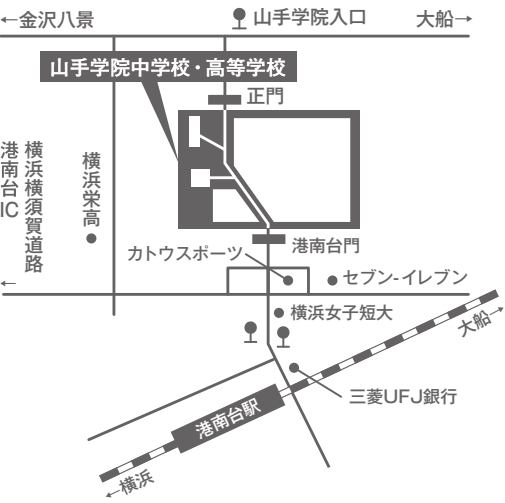


MAP



ACCESS

- JR 京浜東北・根岸線 港南台駅下車 徒歩 12 分
横浜駅～港南台駅 24 分 大船駅～港南台駅 7 分
- 横浜市営バス 45、111 系統ほか 横浜女子短期大学前下車
- 神奈川中央交通バス 大船～金沢八景線ほか 山手学院入口下車

ADDRESS

- 〒247-0013 神奈川県横浜市栄区上郷町 460
- 045 (891) 2111
- www.yamate-gakuin.ac.jp



YAMATE

山手学院中学校・高等学校



山手学院中学校・高等学校 2026 年度 学校案内

YAMATE

26

「新たな時代への挑戦」

IoTで人とモノがつながり、AIにより必要な情報が必要なときに提供され、

ロボットや自動走行車で人の可能性が広がり、社会の変革によって

多様なニーズに対応するSociety5.0時代が到来しつつあります。

この新たな時代は、決してAIやロボットに支配され監視されるような未来ではなく、

一人ひとりの人間が中心となる社会であり、世界の多様な課題の解決にも通じる社会です。

加速度的に変化し、複雑で予測困難となってきた社会では、

答えのない問いに対して挑戦し、新たな価値を生み出していくことが求められます。

山手学院は、生徒一人ひとりに寄り添い、新たな時代への挑戦を全力でサポートします。

さらに自らに誇りを持つとともに、あらゆる他者の誇りと自由を尊重し、

多くの人と協働しながら社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、

その資質と能力の育成を目指します。新時代に挑む結果として、成功と失敗が生まれます。

山手学院の創設者のお一人である江守節子先生が、ご自身のアメリカ留学時代を振り返ってこのように

語っていらっしゃいます。「……こうして、すべてアメリカ流に勉強していった、ひとつ悟りました。

ハナからてんでだめだということは、この世にはない。努力すればなんとかなる。要は努力しなければだめだ

ということですね。あとは、その努力をどこまで続けるか、という持続力の問題なんです。」

そして、江守節子先生の口癖は「Never Never Give up!」でした。

失敗しても、新たな一歩と考えて挑戦し続けてください。

そして、よりよい未来を創造するために世界の舞台で活躍し、世界で信頼される人間になり、

最終的には、個人と社会の多様な幸せ (well-being) を実現してほしいと思っています。

校長

簗田 大



山手学院は、「未来への夢をはぐくみ、

その夢の実現をたくましく になっていく人」

すなわち、「世界を舞台に活躍でき、世界に信頼される人間」を

育成することを、建学の精神としています。

教育方針

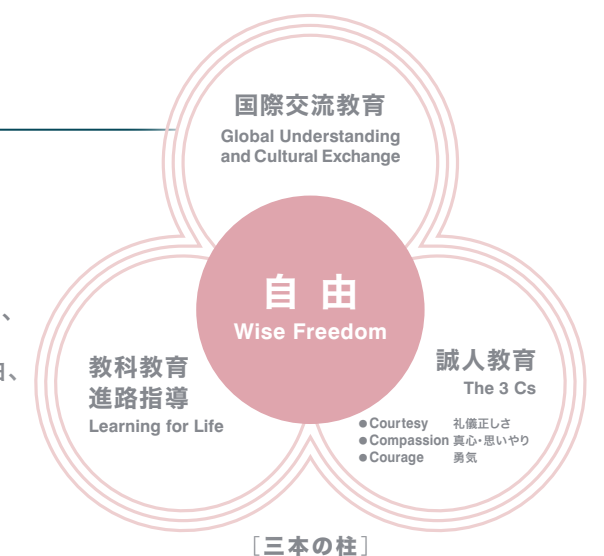
建学の精神を実現するために、

本校では「三本の柱」を教育方針に定めています。

三つの柱の中心にある自由とは、自らに誇りを持つとともに、

他者の誇りと他者の自由を尊重する姿勢の上に成り立つ自由、

すなわち「Wise Freedom」です。



国際交流教育

独自の国際交流プログラムとGLP (Global Leader Program)のもと、
中学3年から世界を体験します。異文化にふれ、新しい自分の発見につなげています。



「世界を舞台に活躍でき、世界に信頼される人間」を育成するという目標を実現するためには、
単に教室の中で世界について学ぶだけではなく、中学・高校という多感で柔軟な吸収力のある時期に、
直接「世界」の中に飛び込み、体験することが必要だと考えています。

山手学院で学ぶすべての生徒にその機会を与えるのが、本校の国際交流プログラムです。

中学3年でのオーストラリアホームステイ、高校2年での北米研修プログラムを柱として、

ニュージーランド中期留学、国連世界高校生会議 (UNIS-UN) への生徒派遣などを行っています。

GLP (Global Leader Program) では、身のまわりから世界の課題にまで目を向けて解決策を見出していく

SDGsやアントレプレナーシップ、プログラミングについて学ぶ講座、

シンガポールやブリティッシュヒルズでの研修など多種・多様なプログラムを実施しています。



国際社会で活躍する人間に
育つために、
何を心がけるべきなのでしょう？



国際交流部長 佐藤 友則

グローバル化が進む世界。現代は、「世界で活躍する人材＝握りのエリート」という時代ではありません。いろいろな立場の人が国境を越え、従来以上にさまざまな分野で活動することが当たり前になっています。ではその国際社会において、日本で学ぶ子どもたちが活躍する人間に育つためには、何を心がけるべきなのでしょう？

山手学院の建学の精神である、「世界を舞台に活躍でき、世界に信頼される人間」の育成を実現するためには、教室の中で世界について学ぶだけでなく、多感で柔軟な吸収力のある時期に、直接「世界」に飛び込み、自ら経験することが必要です。

本校の国際交流プログラムは、すべての生徒が参加する中学3年でのオーストラリアホームステイ、高校2年での北米研修プログラムを柱として、世界各国への1年間の留学制度、ニュージーランドへの3カ月の留学制度、世界各国の代表と議論する国連世界高校生会議 (UNIS-UN) への生徒派遣などを行います。

単に英語を話せるようになることを目標とせず、お互いの文化の違いを知り、それぞれの文化のよさを見出すことを通して、文化の差に阻まれないコミュニケーション能力が身につけていきます。多様な仲間とふれあうことで、ものごとに対する考え方が豊かになり、新しい環境に飛び込むことで、今まで気づかなかった自分を発見することにもつながっていきます。

自らの意思で学び、自らの力で行動する。そのためのツールとして語学力を高めながら、知らない土地への好奇心や異文化への理解を深めていく。これがグローバル化した「世界」におけるスタンダードであり、世界で個々がパーソナリティを発揮し、人々の信頼を得て活躍していく原点だと思います。そして、それが自然に身についた大人に育っていく環境が、山手学院にはあります。

国際交流プログラム

中高一貫の山手学院ならではの多彩な「国際交流プログラム」を通じて、広くて多様な世界を実感し、世界基準の視野を育てます。

3年(中3)

4年(高1)

5年(高2)

6年(高3)

オーストラリア
ホームステイ



ニュージーランド
中期留学
(中3希望者)



- 夏の講習
- 冬の講習
- 説明会
- 春の講習
- 直前講習

北米研修プログラム

北米ホームステイ



リターンビジット



国連世界高校生会議
(UNIS-UN)
(高1～高3希望者より選抜)



世界基準の
視野を持つ

オーストラリアホームステイ



山手学院での国際交流の第一歩となるのが、中学3年生が全員参加で11月初旬に6泊7日の日程で行うオーストラリアホームステイです。中学1年から築き上げた英語力を試すよい機会として、また総合的な学習の一環として実施し、今年度で24年目を迎えます。金曜夜に日本を出発、土曜朝にオーストラリアに到着後、夕方にホストファミリーと対面。2人1組でお世話

になります。翌週月曜からは、現地の学校を訪問。オーストラリアの子どもたちと打ち解けて、楽しい時間を過ごします。この5日間のホームステイプログラムは、海外への興味・関心を深めたり、より高い目的意識を持って学習に取り組んだり、向上心を育むきっかけになり、高校2年次で行う北米研修プログラムへとつながっていきます。

ニュージーランド中期留学



この留学プログラムは、中学3年の3学期に実施されます。到着後、現地の文化や習慣、生活方法について研修を受けてから、現地の学校に編入します。約3カ月間を過ごした後に帰国し、高校の入学式を迎えます。15歳という柔軟な時期に、保護者のもとを離れて、自らの力でホストファミリーやクラスメイトと英語でコミュニケーションをはかる留学プログラムは、6年一貫だからこそ選択できるプログラムのひとつです。

北米ホームステイ



高校2年生全員参加で1969年度から行っています。4月中旬、15泊16日の日程で、カナダ、アメリカの都市へ行き、原則2人1組でホームステイをします。日本の文化紹介やパフォーマンスを行うほか、現地の学校の行事に参加。世界を肌で感じる2週間です。

リターンビジット

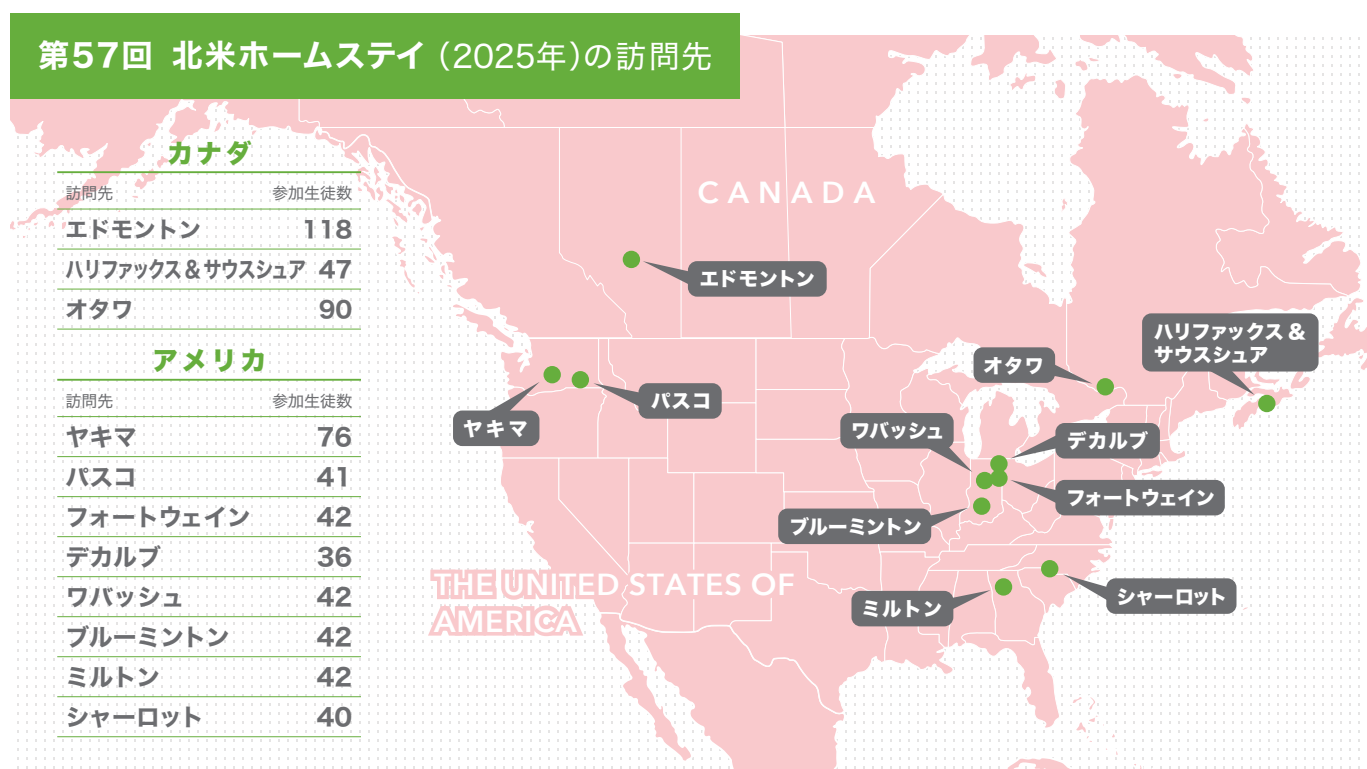


山手学院の生徒が訪問したアメリカやカナダの生徒を7月下旬に日本に迎え、山手生の家庭にホームステイをしてもらいます。山手生と一緒にクラブ活動を行ったり、地域での活動に参加したり、横浜・鎌倉・浅草などを散策したりします。

国連世界高校生会議(UNIS-UN)



ニューヨークにある国連国際高校の生徒たちが中心となり企画して行われるこの会議は、毎年3月上旬、国連本会議場を舞台に開催されます。世界を取り巻く問題をテーマに、関連分野の第一線で活躍する方々をゲストスピーカーとして招き、世界数十カ国の高校生と意見交換・交流を行います。本校は1993年から参加しています。



Global Leader Program

20年後の世界で活躍する人材、「Change Maker」の育成に向けて。

これまで非認知能力の育成を目的に「SDGs」、「アントレプレナーシップ」、「プログラミング的思考力」、「英語対話力」、「哲学的思考力」の5つのコンセプトで行ってきた山手学院のGLP (Global Leader Program) は、プログラム発足から5年目の今年、従来のコンセプトを統合し、より深化した思考力と実践的な取り組みを重視した3つの新しいコンセプトを再定義しました。社会的課題に対する解決志向を育む「課題発見・解決力」、物事を多角的に考察する「論理的思考力」、そして社会や環境に対する責任感と行動力を促す「社会課題への意識」の3つを柱に、多角的な視点と柔軟な発想力を兼ね備えたグローバルリーダーの育成を目指します。

国内GLPツアー

大分県 次代を拓く人材育成キャンプ

地域社会の現場でのフィールドワークを通じて具体的な課題に触れつつ、社会や経済の構造を広い視野で捉え、起業家精神を身につけます。



秋田県 グローカルリーダー育成研修

廃校を活用したインキュベーション施設「BABAME BASE」や、地域コミュニティを拡張する「シェアビレッジ」など、ユニークな取り組みが次々と進められている地域で新たなまちづくりの可能性を探ります。



広島県 同世代と共に考える平和学習

広島平和記念公園を中心に現地の若者「ピースバディ」とともにフィールドワークを行い、平和について深く学びます。



海外GLPツアー

シンガポール イマージョンプログラム

シンガポール国内の大学で、ディスカッションやプレゼンテーションを中心としたリーダーシップ研修に参加します。マレーシアでの文化交流も魅力です。



台湾 文化と歴史の交差点で未来を創る

歴史と文化が薫る台湾の古都「台南」、そして沿岸の進화가目覚ましい台湾最大の港町「高雄」。この2つの地域を舞台に、現地の大学生や留学生とともに英語で活動し、フィールドワークやプレゼンテーションを行います。



韓国 ソウルでつながる同世代との学びと交流

首都ソウルに4日間滞在し、韓国の文化や歴史を学ぶとともに、現地の高校や大学を訪問します。韓国の歴史と文化を体感しながら、国際的な視野を広げます。



ゲーム作りで学ぶプログラミング基礎

ゲームエンジニアとしての経験を持つプロ講師から、Unityというツールを使った実践的なゲーム開発を学びます。

令和の学生に伝えたい 最新AIの活用法

ChatGPTやClaudeなどの生成系AIを活用し、それぞれの性能を比較しながら、効果的なAIの活用方法を学びます。

Webデザイン オリジナルHP制作

Web制作における重要な概念を学びながら、実際に自分のアイデアを形にするプロセスを体験します。

未来創造講座 未来の山手学院を描こう！

理想の未来を実現するために「2040年の山手学院」をチームで描き出すことに挑戦します。

じっくり考える会

日常の中でふと感じる疑問や見過ごしてしまいがちな問いについて立ち止まり、ゆっくりと考える時間を共有します。

みんなのリーダーシップ講座

読み物や映画といったケーススタディを通じてリーダーシップを考えたり、実践から学んだりします。

リターンビジット学生会議

夏休み期間中に開催される「リターンビジット学生会議」に向けた準備を行います。会議は全て英語で行うため、英語をたくさん使ってみたい人にピッタリの講座です。

Pythonで学ぶアルゴリズム

プログラミング的思考を養い、問題を論理的かつ体系的に解決する力を身につけます。

農業×ICTで社会課題を解決 新たな商品を開発しよう！

ICTを活用した「スマート農業」を楽しむながら、企業や農家さんと一緒に新しい商品を開発します。

初めての探究講座

「社会課題を探究する力」を身につけるための基本的な「型」を、体験を通して学びます。

アートで語ろう！対話型鑑賞講座

グループで一つのアート作品を見ながら、感じたことを自由に話し合い、新しい視点を見つけていきます。

アイデアを商品化！ 3Dモデリング&プリンター講座

3Dプリンターとモデリングを使って、オリジナルの商品を企画・開発してみよう！

キャリア探究 「オリジナル雑誌制作」から未来を考える

毎日新聞出版とのタイアップで、雑誌作りを総合的に体験します。

生成系AIと一緒に ペアプログラミングをしよう！

生成系AIを「ナビゲータ」として活用し、オリジナルアプリの開発などを体験します。

Season Tech 自動運転開発コース

最新技術を学びながら、実機を用いて自動運転に関する知識とプログラミング技術を身につけます。

中高6年間を通した教科指導は、手厚くきめ細やかです。
確かな学力を育て、未来の可能性を広げていきます。



中高6年間で3期に分け、
基礎学力の要となる科目に
十分な時間をかけていきます。



教務部長 島田 和彌

教科指導は手厚く、きめ細かく行っています。6年間の山手学院での
学びを修了したとき、その先の世界で通用するために必要な総合力と個
性を養い、未来に羽ばたけるように準備をします。

中学高校の6年間で3期(前期:中1中2、中期:中3高1、後期:高2高3)
に分け、週34時間に縛られず、基礎学力の要となる科目に十分な時間をか
け、確かな学力を育てます。

前期:漢字コンテストなどを通して基礎学力を、授業を通して考える習
慣を育成します。英語に関しては英語・Englishの授業を週7時
間と手厚く配当し、多方面からより豊かな能力を育てる教育を実
践しています。

中期:中3では選抜クラス(2クラス)を設置し、ある程度発展的な学
習にまで取り組みます。またクラスの人数を少なくすることで、
すべての生徒の学力向上を目指します。

後期:選抜クラスは難関国公立大を目指し、一般クラスは文系・理系の2
コースに分け、効率よく指導します。選択授業も充実しています。

6年間の学び

1年（中1）	2年（中2）	3年（中3）	4年（高1）	5年（高2）	6年（高3）
学びの特徴					
基本的な生活習慣・学習習慣の確立		可能性に挑戦する姿勢の育成		自己の将来への取り組みと開拓	
漢字コンテストなどを通して基礎学力を、授業を通して考える習慣を、行事やクラブ活動を通して挑戦する姿勢を育成します。家庭学習との連携を重視していきます。		3年（中3）から高校レベルの内容に取り組む教科もあります。少人数授業によって、中下位層に手厚く、上位層にはさらに刺激を与え、すべての生徒の学力向上を目指します。		選抜2クラスと、文系・理系に分け効率よく指導。また土曜講座も使って、選択演習を充実させています。	
学びの具体的な取り組み					
★ 体系数学（数研出版） ● 校外活動（中1） ● スケッチコンクール ● 漢字コンテスト（漢検含む）	★ 体系数学（数研出版） ● 校外活動（中2） ● スケッチコンクール ● 漢字コンテスト（漢検含む）	★ 先行カリキュラム開始 ● オーストラリアホームステイ ● 漢字コンテスト（漢検含む）	★ 進路選択説明会 ★ 模擬試験	★ 共通テスト報告会 ★ 模擬試験 ★ 大学模擬講義（早稲田・明治など） ● 北米研修プログラム	★ 大学入試説明会 ★ 模擬試験
● 基本的な学習 ★ 進学のための学習					

6カ年一貫コース

1年（中1）	2年（中2）	3年（中3）	4年（高1）	5年（高2）	6年（高3）
一般クラス	一般クラス	選抜クラス（2クラス）		選抜クラス（2クラス）	
		一般クラス	一般クラス	文系クラス	
● 各クラスの男女比が同じになるようにクラス分けをします。 ● English・技術家庭の授業を1クラス2分割で行っているほかは、すべてホームルーム単位の授業となります。		● 「選抜クラス」2クラスと「一般クラス」4クラスに分かれます。 ● 「選抜クラス」では、ある程度発展的な学習にまで取り組みます。 ● 「一般クラス」では、1年（中1）・2年（中2）よりもクラスの人数を少人数にして授業が行われます。3年（中3）から4年（高1）、4年（高1）から5年（高2）に進級するとき「一般クラス」から「選抜クラス」に入ることができます。		数学・理科は選択が可能ですので、国公立志望者にも対応しています。芸術系の進路を志望する場合は、このクラスで選択することができます。 理系クラス 国公立志望者にも対応しています。	
中学校での英語教育					
Englishの授業は、1年生から3年生までの総合学習の時間に組み込まれています。各クラスは2つの少人数グループに分けられ、それぞれのグループをネイティブスピーカーの教員が担当します。3年間を通して、生徒たちは実生活で役立つ表現を使った会話練習や、さまざまなテーマについてのディスカッションなど、積極的に英語でのコミュニケーション活動に取り組みます。3年生で全員が参加するオーストラリアでのホームステイに向けて、自信を持って英語を使える力を育てるとともに、生徒の実用的な英語力と国際的な視野の育成に力を入れています。					

教科の特色

6年間を通じた段階的な指導、教科ごとに工夫を凝らした授業で、真の学力を培います。

国語



国際社会で活躍する人間にふさわしい高い言語能力と、それを支える教養ある人格の育成を目指し、国語科ではその基盤になる日本語の歴史・文化・意識をよく「学び」、深く「理解し」、現代に生きるものとして「考え」、他者に対して「表現する」力を育てます。中学では、まず自主的に学習に取り組む姿勢を確立します。ノートの取り方や辞書の扱い方、試験勉強の仕方などを身につけていきます。高校では、進路に応じた取り組みを進めていきます。全学問の基盤となる言語能力を高め、多様化する受験制度に対応できる学力をつけます。

社会



世界の枠組みが大きく変わり、異文化との交流が増え、新たな選択を迫られている現代にあって、日本と世界の過去と現在を知ることは、かつてなく重みを増しています。社会科では、知的探究心や多角的視点を養い、世界市民としての公正な判断力と、その根拠となる教養を身につけることを目標に、問題解決型のグループ学習などを通して、高度な理解を目指します。中学1年で「世界」、中学2年で「日本」をテーマに、地理・歴史を相互に関連づけながら学習。中学3年では近現代の日本の歩みを学び、現在の政治や経済への理解を深めていきます。

理科



科学的な思考力と考察力を育成することをテーマにしています。実験観察を多く行い、生徒が自ら学び探究する機会を増やしています。多くの生徒が実験に参加できるよう、実験器具や薬品は数多く揃えています。実験を通して得た自然現象に対する驚きや感動は、本当の学力として高校での学習や大学受験に役立つだけでなく、卒業後も世の中のさまざまな現象に興味を持つ原動力になります。また、タブレットを用いたICT教育にも力を入れています。高校2年以降の理系クラスでは、入学試験に合わせた指導を実施し、真の理科的思考を育めるように指導しています。

英語



英語を「読み・書き・話し・聞く」だけでなく、相手を知り自分を理解してもらうことを自由にできるレベルを目指します。中学1年から中学2年では英語でのコミュニケーションに必要な基礎的な知識を身につけます。ネイティブスピーカー教員によるEnglishの授業が週2時間あります。中学3年から高校1年では英語を運用する力を伸ばします。速読を意識したトレーニング、リスニングやスピーキングの技能を伸ばすための音声活動も行います。高校2年から高校3年では大学入試問題演習を中心に、国公立・難関私立大の入試に対応できる実力を養成します。

数学



次の5つの数学的な見方や考え方を身につけることを目標としています。①帰納的な考え方(具体的な例から推測し、共通に成り立つ一般的なルールをつくる)②類推的な考え方(類似する既知の事項の性質やルールが同様に成り立つとする)③演繹的な考え方(論理的規則を用いて必然的な結論を導き出す)④一般化の考え方(ひとつの対象、または集合全体で成り立つ一般性を見つける)⑤単純化の考え方(複雑なものを、簡単になる場合に置き換えをする)。数学の学習を通して、一人ひとりがこれらの能力を身につけ、伸ばせるように指導しています。

技術・家庭

技術科の木工ではできるだけ機械に頼らず、手工具を使ったモノづくりを目指しています。さまざまな加工法を学びながらラックや電気スタンド、ラジオの製作などを通してモノづくりの楽しさや難しさを学習します。中学の家庭科では、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識や技術の習得を目指し、高校では、「衣生活」「食生活」「住生活」と「家庭経済」を実習・実験などを行いながら学びます。

保健体育

「走ること・跳ぶこと・投げること・泳ぐこと」を軸に体力の向上を図り、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力、健康の保持や増進のための実践力を育成することを目標にしています。体育の内容は、陸上競技、器械体操、ダンス、球技、武道などをクラスごとに男女共習で行います。中学1年では保健体育講座として、外部講師を招き「思春期の心と体」について学ぶ機会を設けています。

美術

美術は「描くこと、見ること、感じること」をテーマに、中学3年間を通じて、豊かな感性を育む授業を行っています。豊富な画材に触れ、多様な表現方法を体験することで創造活動の喜びを味わいます。また作品を鑑賞することによって浮かんでくる「何を表現しているの?」「どうやって描いたの?」という疑問をきっかけに、さまざまな表現活動に挑戦していきます。

音楽

音楽とは文化です。音楽を学習することで、日本と世界の文化を情報として知るだけでなく、じかに体感することができます。中学では篠笛から始め、箏との合奏を目指します。高校の芸術選択では、三線の演奏と並行し、ソルフェージュ、歌唱、創作、楽器演奏などに取り組み、世界の音楽を体感します。またグループ演奏や合唱コンクールを通して、協力しながら音楽をつくり上げる喜びも学びます。



一人ひとりの希望や個性に合わせた的確な進路指導のもと、確かな実績を上げています。

主体的に勉強する環境をつくり、
大学の先を見据えた
進路指導を行っています。



進路指導部長 大竹 直

山手生は授業やクラブ活動、北米研修プログラム、そして山手祭と充実した日々を過ごしています。その山手生が、学校にいながら大学を身近に感じられる取り組みとして、模擬講義、大学の入試課の方による説明会などを実施しています。

また、高校2年の後半になるとお互いに感化し合い、早朝や放課後の教室で勉強する生徒が現れます。校長は『『正解』のない世界を、自ら切り拓こう』とよく生徒たちに話しています。まさに、山手学院では生徒が主体的に勉強する姿勢・環境が受け継がれています。

それに加え、進路情報に精通した教員が一人ひとりにきめ細かな指導をし、生徒の学力向上ならびに希望する進路の実現をサポートしています。

また、受験には生徒本人だけでなく、保護者、教職員が一体となって向き合います。昨今の入試の変化にいち早く対応すべく「保護者のための大学入試研究会」を実施し、多くの受験情報を提供しています。

本校の進路指導は、大学に入学することを一番の目標にするのではなく、その先の未来をも見据えて行っています。受験当日に本来の力を出し切ることは難しいものですが、山手生はこれまで仲間とともに最大限の努力をしてきたという自信があるからこそ、本来の力を発揮でき、結果につなげられていると思います。

2025年合格実績

抜粋・（ ）内は現役生

国公立大学			私立大学			2025年 国公立大学 現役進学者数上位校	
旭川医科	1(1)	県立保健福祉	1(1)	早稲田	62(57)	駒澤	26(26)
北海道	4(4)	新潟	1(1)	慶應義塾	39(38)	専修	42(42)
国際教養	2(2)	山梨	1(1)	上智	40(37)	北里	34(33)
東北	8(8)	信州	3(3)	東京理科	72(63)	芝浦工業	44(41)
山形	1(1)	金沢	1(1)	国際基督教	2(1)	東京都市	71(67)
筑波	4(4)	公立小松	1(1)	明治	194(179)	東京農業	38(36)
宇都宮	1(1)	静岡	2(2)	青山学院	78(75)	津田塾	11(10)
群馬	2(1)	名古屋	3(3)	立教	95(93)	東京女子	6(5)
埼玉	1(1)	名古屋工業	1(1)	中央	61(56)	日本女子	18(18)
千葉	4(4)	滋賀	1(0)	法政	111(107)	昭和女子	7(6)
東京	1(1)	京都	2(1)	学習院	28(27)	フェリス女学院	2(2)
東京科学	2(2)	京都府立	1(1)	成城	24(24)	東洋英和女学院	1(1)
一橋	3(3)	大阪	3(3)	成蹊	16(16)	関西	1(1)
お茶の水女子	1(1)	大阪公立	1(1)	明治学院	84(82)	関西学院	2(0)
電気通信	4(2)	兵庫県立	1(1)	國學院	19(17)	立命館	4(4)
東京外国語	1(1)	鳥取	1(0)	武蔵	7(7)	神奈川	128(127)
東京海洋	4(4)	広島	2(0)	日本	73(67)	関東学院	13(13)
東京学芸	1(1)	香川	1(1)	東洋	72(71)		
東京藝術	1(0)	長崎	1(1)				
東京農工	3(2)	鹿児島	1(1)				
東京都立	3(3)	平塚看護大学校	1(1)				
横浜国立	20(19)	防衛大学校	1(1)				
横浜市立	9(9)	防衛医科大学校	1(0)				

グループ別大学合格者数推移						
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
国公立	98	95	138	120	123	113
早慶上理	180	216	247	273	262	217

2025年 私立大学 現役進学者数上位校	
1.	横浜国立大学
2.	横浜市立大学
3.	東北大学
4.	千葉大学
4.	筑波大学
4.	電気通信大学

2025年 私立大学 現役進学者数上位校	
1.	明治大学
2.	早稲田大学
3.	法政大学
4.	立教大学
5.	青山学院大学

グループ別大学合格者数推移

	2020	2021	2022	2023	2024	2025
国公立	98	95	138	120	123	113
早慶上理	180	216	247	273	262	217
MARCH	505	555	682	634	604	538
卒業生数	478	485	591	496	478	494

※現浪合計

YAMATE TOPIC

オーストラリアホームステイ

オーストラリアホームステイは、2002年よりスタートした中学3年生全員がオーストラリアでホームステイを体験するプログラムです。舞台となるブリスベンとはオーストラリア北東部クイーンズランド州の南東に位置し、シドニー、メルボルンに次ぐ同国第3の都市です。州都として近代的なビルの建ち並ぶエリアもあれば、動物園や植物園など自然を楽しめるエリアもあり、オーストラリアらしさを体感できる街です。また2032年のオリンピック開催地としてあらためて注目を集めている都市でもあります。

生徒たちは各校15～20名のグループに分かれて、ホームステイをしながら地元の学校に通います。文化や習慣の違う家庭で、ファミリーの一員として生活をともに送り、学校ではパティとともに授業に参加します。中学3年間の学びの集大成として、英語力を発揮するだけでなく、異文化を肌で体感できるまたとない機会です。

滞在中、生徒たちは大きく成長し、それぞれの気づきを得ます。7日間という短い期間ですが、将来世界へと飛翔していけるような、広い視野と柔軟性を育む契機となるプログラムです。



学校生活

豊かな心を育む多彩な行事と、自信と誇りを培うクラブ活動と。
山手学院では伸び伸びと充実した6年間を過ごせます。



クラブ活動は、何ごとも
最後までやり抜く原動力となります。



生徒会指導部長 村上 卓

山手学院の生徒は勉強だけでなく、多様な行事やクラブ活動を通して、自己表現力や社会性を育てています。例年10000人を超える方々にご来場いただく山手祭（文化祭）は学内最大の行事であり、各クラスの個性があふれる工夫を凝らした展示が見ものです。山手祭だけでなく新入生歓迎スポーツ大会でも、生徒たちが主体となって企画や運営に携わり、自分たちのアイデアを実現することができます。

クラブ活動の種類は大変多く、15の運動部と16の文化部から自分に合ったものを選ぶことができます。クラブ活動に積極的に参加することで、自己表現力やリーダーシップを身につけ、人間性の成長にもつながります。また、仲間とともに苦勞を乗り越えてきた自信と誇りが、その後の受験期でも最後までやり抜く原動力となっています。全員が強制的に加入する必要がないながら加入率は大変高く、中学生全体では約9割となっています。

生徒会活動も盛んで、毎年2月に行われる選挙により選ばれた役員が生徒の代表として活躍しています。活動の範囲は幅広く、「山手祭」「新入生歓迎スポーツ大会」「卒業生を送る会」などの行事の運営だけでなく、生徒からのつぶやきを回収する目安箱を設置し、改善策を検討するなど多岐にわたります。最近では、「かさ袋削減プロジェクト」や自動販売機のラインナップを変える取り組みも行いました。また学校説明会では、山手の魅力を伝える生徒代表としてスピーチをしてもらうこともあります。生徒会の役員の中にはクラブ活動でも活躍する生徒も多く、勉強以外でも何かを成し得たいという意識の高い、活気にあふれた集団となっています。

学校行事

4	■ 入学式／1学期 始業式 ■ 遠足（2・3・4・6年） ■ 北米ホームステイ（5年） ■ 模擬試験（2・3年） ■ 大学入試報告会（6年） ■ 新入生歓迎スポーツ大会	8	■ 夏期講習 ■ 2学期 始業式 ■ 第1回実力テスト ■ GLPツアー 大分（3・4年） ■ GLPツアー シンガポール（3・4年）	1	■ 3学期 始業式 ■ 第2回実力テスト ■ 中学合唱コンクール ■ 模擬試験（1・2・3・4・5年） ■ ニュージーランド留学（3年） ■ 中学生徒総会 ■ 漢字検定
5	■ 校外活動（1年） ■ 1学期 中間テスト ■ 大学入試報告会（5年） ■ スケッチコンクール（1・2年）	9	■ 共通テスト説明会（6年） ■ 第2回中学漢字コンテスト ■ 模擬試験（6年） ■ 山手祭（文化祭）	2	■ 高校進学説明会（3年） ■ 共通テスト報告会（5年） ■ 全校ロードレース大会
6	■ 高校生徒総会 ■ オープンキャンパス ■ 第1回中学漢字コンテスト ■ 大学模擬講義（5年） ■ 大学説明会（6年）	10	■ 英語検定（2・3年） ■ 模擬試験（6年） ■ 2学期 中間テスト ■ 校外活動（2年）	3	■ 学年末テスト ■ 卒業式 ■ 芸術鑑賞会 ■ 北米研修講習（4年） ■ 命を考える講演会（1・2年） ■ 春期講習 ■ GLPツアー 広島（3・4年） ■ GLPツアー 韓国（3・4年）
7	■ 1学期 期末テスト ■ 中学水泳大会 ■ リターンビジット（5年） ■ 夏期講習 ■ 北米研修講習（4年）	11	■ オーストラリアホームステイ（3年） ■ 模擬試験（4・5年） ■ 第3回中学漢字コンテスト ■ 大学模擬講義（5年） ■ 進路希望調査（4・5年）		
		12	■ 2学期 期末テスト ■ 理科校外学習（1年） ■ 北米研修講習（4年） ■ 冬期講習 ■ GLPツアー 台湾（3・4年） ■ GLPツアー 秋田（3・4年）		

クラスや学年を超えた仲間との絆を育み、学校生活を豊かにするクラブ活動も盛んです。



運動部		中学生の活動日の目安								
■ 空手道部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ 剣道部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ サッカー部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ 柔道部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ 水泳部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ 卓球部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ ダンス部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ チアリーダー部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ テニス部		※1日おき								他
■ 軟式野球部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ バスケットボール部(男)		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ バスケットボール部(女)		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ バドミントン部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ マウンテンバイク部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ ラグビー部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ 陸上競技部		月	火	水	木	金	土	日	他	

※●必要に応じて

文化部		中学生の活動日の目安								
■ アニメーション部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ 囲碁・将棋部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ 演劇部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ 合唱部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ 華道部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ 茶道部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ 写真部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ 書道部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ 吹奏楽部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ 生物部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ 箏曲部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ ねころ部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ 美術部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ 文藝創作部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ ボランティア部		月	火	水	木	金	土	日	他	
■ 理工学部		月	火	水	木	金	土	日	他	

※●必要に応じて



明るく伸びやかな校風を感じさせる制服です。
ネイビーブルーのブレザーに、グレンチェックのズボンにネクタイの組み合わせ、またはグレンチェックのスカートや
スラックスにリボンの組み合わせを選択でき、活発なイメージです。胸のエンブレムと金ボタンがポイントです。



5月から10月の期間、制服以外に略装として
学校指定のポロシャツを着用することができます
(式典のほか、学校が指示をした場合はシャツ・ブラウスを着用)

1966年 4月	山手学院中学校開校(男子のみ144名) 2年間の義務入寮制度開始	
1969年 4月	山手学院高等学校開校(男女共学となる) アメリカ研修旅行開始(ワシントン州デイトン市)	
1970年 7月	5期生より6年間全寮制度となる 交換留学生制度発足(アメリカ・カナダ・ ニュージーランド・オーストラリアより14名来日)	
8月	リターンビジット開始 (第1回デイトン市)	
10月	体育館完成	
1972年 3月	高等学校第1回卒業式	
1973年 5月	卒業生記念会館完成	
1980年 4月	高等学校通学制度導入	
1982年 4月	中学校通学制度導入	
1986年 4月	本校舎別館完成(4階建て:12教室・4部室) 理数コース設置(高等学校)	

1987年 4月	アメリカに加えカナダにも研修旅行を実施 北米研修旅行と改称	
1989年 3月	オークランドグラマー記念賞制定	
1991年 9月	松信賞、江守賞制定	
2002年 11月	オーストラリアホームステイ開始	
2005年 3月	特別教室棟完成 (5階建て:技術・音楽・ 被服・調理・書道・ 特別教室8教室)	
2010年 4月	併設型中学校・高等学校認可	
10月	新図書館・カフェテリア完成	
2016年 4月	創立50周年	
2017年 4月	新体育館完成	

YAMATE Q&A

説明会などでよくある質問にお答えします。

学校生活について

Q1 夏休みなどの長期休暇の過ごし方を教えてください。

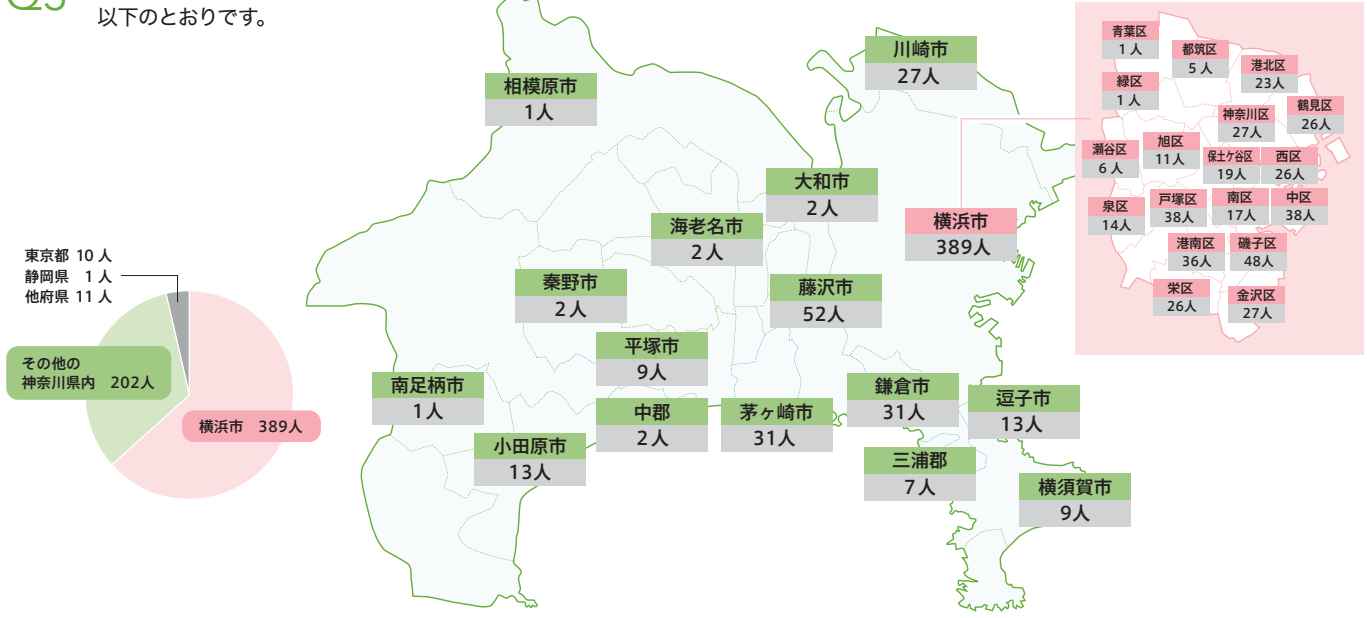
長期休暇中は5日間1タームの講習が多数開かれ、多くの生徒が参加します。また、勉強習慣を継続するため、多くの教科から課題が出ます。8月と1月の休み明けには実力テストがあります。生徒にとってはじっくり学習に取り組める期間ともいえます。

Q2 どのような生活指導をしていますか？

生徒一人ひとりが自分の力でものを見、判断し、実際の行動に移せるようにとの目標を設定し、教育環境づくりを行っています。全体的には穏やかな生活指導ですが、集団生活でのマナー遵守や個人の尊厳を守ることにおいては厳しい姿勢で臨み、停学・退学を含めた対応も行います。

Q3 通学地域について教えてください。

以下のとおりです。



Q4 登校指導を行っていますか？

多くの生徒はJR京浜東北・根岸線の港南台駅から歩いて登校してきます。乗降客が多い駅ですので、定期的に駅から学校の間での登校指導を行い、片側通行などの交通マナーを指導しています。

Q5 宗教教育を行っていますか？

特定の宗教教育は行っていません。

Q6 学生食堂はありますか？

ガラス張りで見学のできる学生食堂（カフェテリア）があり、12時から15時までの営業時間中は、談話室や自習室としても使用できます。席数は200。事前に食券を購入して利用します。

Q7 生徒会はありますか？

充実した学校生活を送るため、選挙で選出された会長・副会長・執行委員を中心に、自主的な活動を行っています。活動は山手祭をメインに、新入生歓迎スポーツ大会や卒業生を送る会の運営・スポーツ応援などです。

Q8 自転車通学はできますか？

生徒の安全を考え、自転車通学は認めていません。

Q9 時間割について教えてください。

下記のとおりです。始業時刻は8:30、7校時終了時刻は15:35です。

● 中1 時間割表 (例)

	月	火	水	木	金
8:30～	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書
1	国語	美術	数学	体育	英語
2	英語	美術	理科	English	理科
3	数学	数学	English	英語	社会
4	理科	社会	国語	国語	国語
5	技術・家庭	英語	音楽・書写	数学	数学
6	技術・家庭	音楽	英語	理科	体育
7	LHR		体育	社会	学年の時間

● 中2 時間割表 (例)

	月	火	水	木	金
8:30～	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書
1	技術・家庭	数学	音楽	美術	数学
2	技術・家庭	社会	国語	理科	理科
3	理科	英語	英語	体育	国語
4	数学	国語	社会	数学	英語
5	英語	English	理科	社会	社会
6	体育	理科	数学	国語	English
7	LHR		学年の時間	英語	体育

● 中3 時間割表 (例)

	月	火	水	木	金
8:30～	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書
1	国語	国語	英語	理科	English
2	数学	数学	数学	英語	数学
3	美術・情報	英語	理科	社会	体育
4	美術・情報	体育	English	国語	理科
5	理科	社会	国語	数学	国語
6	英語	音楽	技術・家庭	体育	社会
7	LHR		社会	学年の時間	英語

● 授業は1コマ45分です。 ● 英語は週7時間 (English 2時間含む)、数学は週5時間を配当しています。

学習について

Q10 高校からの入学生もいるようですが、クラスは混在になりますか？

中学入学生は6年一貫カリキュラムになりますので、高校への進学後も高校入学生とクラスが同じになることはありません。国際交流プログラムや学校行事、一部の選択授業、クラブ活動においては、中学入学生も高校入学生と交流しながら、同じ山手生として学校生活を楽しんでいます。

Q11 土曜日には授業がありますか？

通常の授業は月～金曜日の5日間ですが、土曜日の午前中には土曜講座を開講しています。補習講座や資格試験対策講座、大学受験対策講座など多彩な講座が開講されていて、生徒たちはそれぞれのニーズに合った講座を受講することができます。勉強の講座以外に語学や教養のための文化講座も開講していて、生徒と保護者が一緒に受講できる講座もあります。
[開講例] 「補習英語」「補習数学」「東大日本史から学ぶ歴史の教養」「基礎化学 in English」「TOEIC対策講座」「英会話」「韓国語講座」「星空とアロマ」「着つけ」など

Q12 補習はありますか？

土曜講座での補習以外にも、夏期・冬期・春期の長期休暇中には講習が実施されます。それぞれ一講習5日間程度で、基礎事項の復習から大学入試問題の演習まで、さまざまなレベルの講習が開講されます。学期中の通常授業とは違った角度から、弱点の補強や発展的な学力の強化に取り組むことができます。

Q13 指定校推薦枠について教えてください。

主 な 指 定 校 推 薦 枠 (2 0 2 5 年 度)		
横浜市立大学	国際教養学部・理学部 各1名、医学部(看護) 2名	学習院大学 経済学部・文学部・法学部・国際社会科学部 各1名、理学部 5名
早稲田大学	法学部・商学部・文学部・文化構想学部・教育学部・基幹理工学部・先進理工学部・人間科学部 各1名、創造理工学部 4名	明治学院大学 全学部 計10名
慶應義塾大学	法学部・薬学部 各1名、商学部 2名、理工学部 3名	日本女子大学 人間社会学部 3名、家政学部 2名、理学部 1名
上智大学	法学部・理工学部 各1名	東京女子大学 現代教養学部 3名
明治大学	国際日本学部・総合数理学部 各1名、理工学部 2名	成城大学 法学部・社会イノベーション学部 各2名
青山学院大学	教育人間科学部・総合文化政策学部・コミュニティ人間科学部 各1名、理工学部 5名	日本大学 経済学部・法学部・理工学部 各1名、松戸歯学部
立教大学	文学部 3名、法学部・コミュニティ福祉学部・観光学部 各1名	東京都市大学 環境学部・メディア情報学部・建築都市デザイン学部・情報工学部 各2名、人間科学部・都市生活学部・デザイン・データ科学部 各1名、理工学部 7名
中央大学	法学部・理工学部 各3名、総合政策学部・商学部 各1名	芝浦工業大学 建築学部 1名、工学部・システム理工学部・デザイン工学部
法政大学	経済学部・グローバル教養学部・社会学部・デザイン工学部・理工学部 各1名	獨協医科大学 医学部
東京理科大学	理学部・工学部・先進工学部・経営学部 各2名、創域理工学部・薬学部 各1名	北里大学 医学部 1名、獣医学部 2名

入学試験について

Q14 2025年度の入試結果について教えてください。

以下のとおりです。

志願者／受験者／合格者／入学者

	試験日	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	実質倍率
帰国生	12月8日	若干	56	54	29	6	1.9
A日程	2月1日	80	361	295	123	79	2.4
特待選抜Ⅰ	2月1日	40	673	593	301	21	2.0
特待選抜Ⅱ	2月2日	20	537	325	124	33	2.6
B日程	2月3日	60	544	302	113	76	2.7
合計		200	2171	1569	690	215	2.3

男女別結果

		志願者数	受験者数	合格者数
帰国生	男子	33	32	20
	女子	23	22	9
A日程	男子	191	146	50
	女子	170	149	73
特待選抜Ⅰ	男子	448	406	219
	女子	225	187	82
特待選抜Ⅱ	男子	324	190	72
	女子	213	135	52
B日程	男子	307	180	70
	女子	237	122	43
合計	男子	1303	954	431
	女子	868	615	259

2科4科別結果

		志願者数	受験者数	合格者数
A日程	2科	62	57	19
	4科	299	238	104
B日程	2科	68	47	17
	4科	476	255	96

※帰国生・特待選抜Ⅰ・特待選抜Ⅱは全員が2科受験

入試得点

	合格者						受験者平均点					
	最高得点		平均点		最低点							
	2科	4科	2科	4科	2科	4科						
帰国生	186	—	136.7	—	122	—	65.8	46.9	—	—	112.8	—
A日程	182	292	149.5	241.7	138	250	64.7	64.6	49.2	35.6	129.3	215.9
特待選抜Ⅰ	176	—	124.3	—	108	—	65.1	41.8	—	—	106.8	—
特待選抜Ⅱ	175	—	117.7	—	98	—	52.6	39.3	—	—	91.9	—
B日程	143	270	108.2	210.3	96	207	48.4	39.6	53.4	40.7	88.0	182.9

Q15 帰国生について教えてください。

本校では、下記の条件に該当する者を帰国生扱いにしています。

帰国生は一般の受験生と同じ試験を受けますが、一定の点数を上乗せした上で、合格を決定します。

□ 海外在留1年以上で、2023年4月以降に帰国した者。

Q16 宗教や国籍は問題になりますか？

宗教や国籍が問題になることはありません。ただ、入学後は本校が課す教科を修得し、指導に従うことが必要ですので、本校の教育内容をよく理解した上で志願してください。

Q17 合格の決定では、男女どちらを優先しますか？

男女別に募集をしていませんので、男女の区別なく総合点で合格を決定します。

Q18 特定の教科が悪い場合には、不合格になりますか？

総合点で可否を決定します。不得意な教科の失敗を少なくすること、そして、得意な教科での頑張り合格への近道です。

Q19 山手学院が第一志望です。全日程を受験する予定です。合格の可能性ありますか？

試験の雰囲気やその年の問題傾向に慣れるためか、回数を重ねるほど得点が高くなるケースが多くみられます。また、繰り上げ合格を出すときでも、複数回受験者を優先しています。

Q20 2科・4科の選択制になっていますが、どのように合格者を決定しているのですか？

A日程・B日程は、「2科（国・算）合計点」と「4科（国・算・社・理）合計点」の2つの合格最低点を設定します。2科受験生は2科の合計点数のみでの可否判定になりますが、4科受験生は、2科合計・4科合計のうちどちらか一方で合格最低点をクリアしていれば合格になります。

Q21 試験当日に体調をくずして発熱してしまいました。どうしたらよいでしょうか？

体調不良の場合は事前にお電話などでご連絡いただくか、試験が始まるまでに本校職員まで申し出てください。保健室受験などの対応をいたします。

Q22 入試に関する問い合わせはどのようにしたらよいでしょうか？

入試対策部で質問を受け付けています。受け付け時間は、月～金（祝日を除く）午前9時～午後4時です。
☎ 045-891-2111

諸費用について

Q23 入学時に必要な費用はいくらですか？また学費、諸費用についても教えてください。

入学時に必要な費用

入学金260,000円のみです。施設設備費（240,000円）やそれ以外の校納金は入学後の5月に納めてください。ただし、入学金を期日までに納入しないときには、入学資格がなくなります。

学費について

学費は月額60,550円です。内訳は右記のとおりです。

支払いは年6回、2カ月分ずつ銀行口座から引き落とします。

諸費用について

〈制服など〉

男子：約96,000円 女子：約100,000円（税込）

（夏服、冬服、シャツまたはブラウス 夏・冬各3枚、ネクタイまたはリボン）

〈オーストラリアホームステイ〉

（中3：6泊7日）約530,000円（令和6年度実績） 中学3年時 旅行費用半額程度 2回分割納入

航空運賃やその他の諸費用を含みます。

〈北米ホームステイ〉

（高2：2週間）約530,000円（令和6年度実績） 高校1年時 旅行費用半額程度 2回分割納入

航空運賃やその他の諸費用を含みます。

〈その他（年1回）〉5月引き落とし

図書館運営費6,800円、保健衛生費3,000円、生徒会費9,600円、教材費等預り金として100,000円（遠足費用、有償学用品代、副教材代、模擬テスト代等を年度末に精算します）、および父母の会入会金2,000円

以下の制度があります。

1.特待生制度

入学試験の成績優秀者には下記のような特待生制度が適用されます。

施設設備費・授業料全額免除（原則3年間継続）。

2.奨学金制度

入学後、経済状況が逼迫し、学業継続が困難な状況が生じた場合、学費の一部を補助する制度です。

3.弟妹割引制度

入学金・施設設備費半額免除。

Q25 保護者の海外転勤の際、在籍したままで生徒を海外に連れていくことができますか？

以下の条件で可能です。

①休学期間は最大31カ月（中学1年の2学期以降）とし、中学3年2月末日には復学すること。

②復学時に海外で在籍した学校の成績書類を提出すること。

③休学中は復学後に備えて、学力の維持に努めること。

